

保証書

商品名		保証期間	お買い上げ日から1年間。 (但し、下記「保証規定」による)
お客様	ご住所 〒	お買い上げ日	年 月 日
		販売店	住所 〒
	お名前		販売店名
	TEL.() -		TEL.() -

・お買い上げ時に商品名、お客様名、お買い上げ日、販売店名をご記入願います。
・本保証書は再発行致しませんので、紛失しないようご注意ください。

保証規定

- このチャイルドシートの保証期間は、お買い上げの日から1年間とします。
- 保証期間内は製造上の責任による故障や破損は無料で交換を致しますが、お客様の責任によるものは有料となります。
- 次のような場合は、保証期間内でも無料サービスの対象から除外されます。
 - ①表皮などの汚れやキズ、破れ
 - ②金属部のメッキ、塗装の自然劣化
 - ③保証書の提示がない場合
 - ④間違った使いかた、手入れの不良、不当な修理・改造による故障や破損の場合
 - ⑤火災・水害・地震などの自然災害や事故による故障、破損の場合
 - ⑥取り付けた車両側の要因による事故や破損の場合
 - ⑦本保証書の所定事項への記載がない場合
 - ⑧有料交換に要する運賃などの諸経費
- 一度ご使用になった商品は、お取り替えできません。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 製造を中止した商品の交換については、必要商品の在庫がなくなった場合、交換ができないことがあります。
- 保証等に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店又は、巻末の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。
発売元 **トヨタ自動車株式会社**

お客様相談センター
全国共通フリーフォン

0070-800-778899

〒461-8711 名古屋市中区東一丁目23の22
オープン時間/月曜～金曜 (除く祝祭日) 9:00～12:00 13:00～17:00

製造元 **株式会社 東海理化**

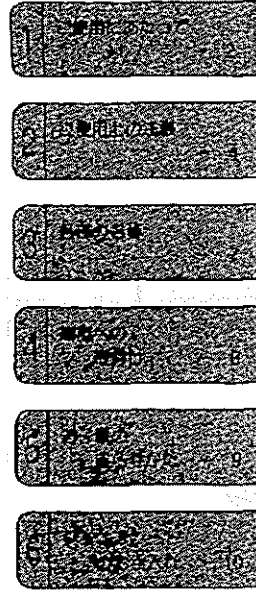
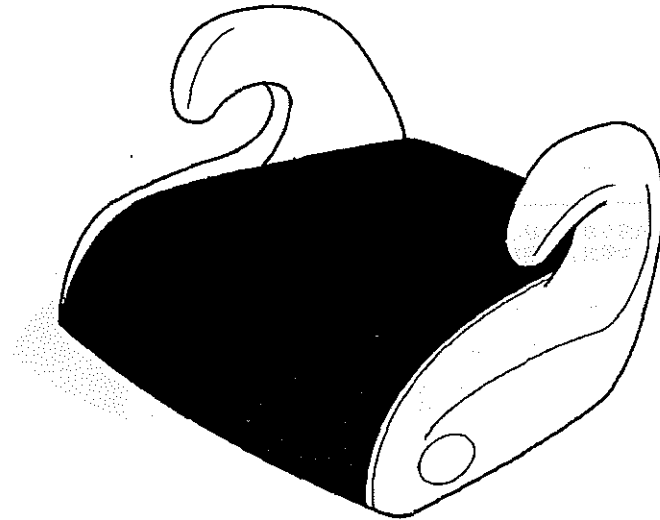
〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田3丁目260番地

トヨタ純正

ジュニアシート

『G-Child Junior』

08794-00140 (7・V-1) **取扱書**
08794-00150 (ライトブルー) 型式 7D6660



このたびはトヨタ純正ジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。

本品は、自動車事故の場合などの際にお子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたジュニアシートです。
お子様の安全のためにご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないようお車の中に保管してください。
本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

1 ご使用にあたって

警告表示について

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

- 警告** 記載事項を守らないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあるもの。
- 注意** 記載事項を守らないと、傷害、事故またはベビーシートの破損につながるおそれがあるもの。

その他の表示について

- 《完了チェック》 安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しております。
- アドバイス** この用品のために守っていただきたいこと、およびより安全、快適にご使用いただくうえで知っておくと便利なことを記載しております。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

- 体 重 - 15kg~32kg
参考身長 - 135cm以下
参考年齢 - 4才~10才

警告

- お子様には適切なジュニアシートをご使用ください。上記の条件（体重範囲）を満たさないお子様にはジュニアシートを使用しないでください。万一のとき、ジュニアシートの効果が発揮できず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

アドバイス

- 体重15kg未満のお子様にはチャイルドシート、体重7kg未満のお子様にはベビーシートをご利用ください。

このような車両シートベルトの種類、座席には使用しないでください。

警告

- 本品は採用型ジュニアシートであり、ジュニアシートの型式限定基準に適合しておりますが、車両シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にジュニアシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの時にジュニアシートが移動するなどして十分な効果を発揮せず、命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。なお、不明な点は車主の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

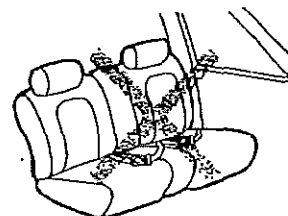
車両シートベルトの種類

※車両シートベルトの種類の詳細は「車両シートベルトの種類」(P7)を参照してください。

○：取付けできる ×：取付けできない

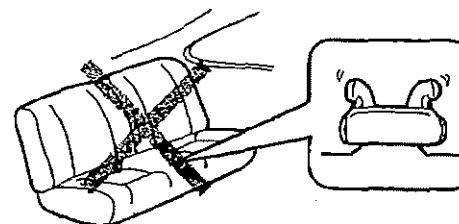
	巻取装置付						巻取装置なし	
	ELR (緊急ロック式) 付		ALR (自動ロック式) 付		オート マチック	非ロック式		
	前席	後席	前席	後席		前席	後席	
3点式	○	○	○	○	×	○	○	○

2点式シートベルトの座席



- オートマチックシートベルトの座席
前席に座ってドアを開けると自動的にシートベルトが緩み、ドアを開けると自動的に外れるシートベルト。

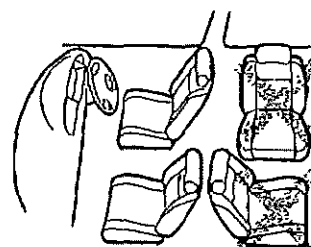
- シートの形状に凹凸がありジュニアシートを乗せて安定しない座席



リヤセンター席など

- シートベルトの無い座席

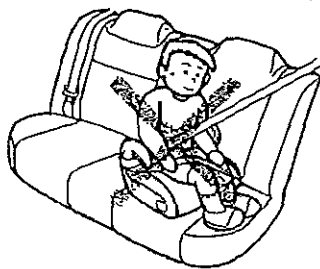
- 進行方向に対し横向き、後ろ向き
の座席



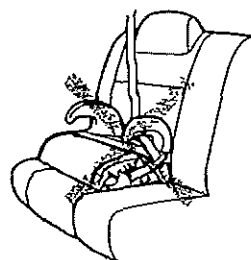
2 ご使用上の注意

警告

- ジュニアシートは、車両シートベルトが適正に着用できない体格のお子様用の補助シートです。必ず車両シートベルトを合わせてご使用ください。
- ジュニアシートは進行方向に対して、必ず前向きにご使用ください。



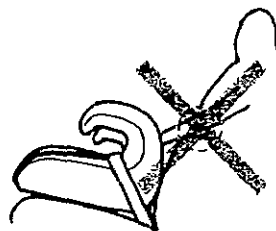
- 事故などにより衝撃を受けたジュニアシートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果発揮しないおそれがあり危険ですので必ず新しいジュニアシートに取り替えてください。



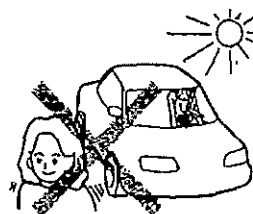
- ジュニアシートはお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定するかトランクに収納してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にジュニアシートが移動して、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、荷物をジュニアシートの上に乗せないでください。



- 車両シートベルトを損傷させたりしないよう十分注意してください。また、損傷したベルトは使用しないでください。損傷したベルトをそのまま使用すると衝突したときなどにベルトが十分な効果発揮せず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。正常に作動しなくなったシートベルトは、すぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けた、歪んだシートベルトは使用しないでください。



- お子様が車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様をジュニアシートに座らせたまま自動車から離れないでください。炎天下の車内は蒸籠となり車内にお子様を残しておくとは射撃や炭酸飲料となり重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

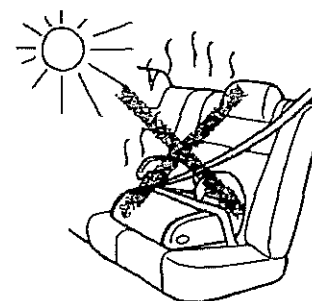


- 走行中および使用中はお子様がついて車両シートベルトのバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

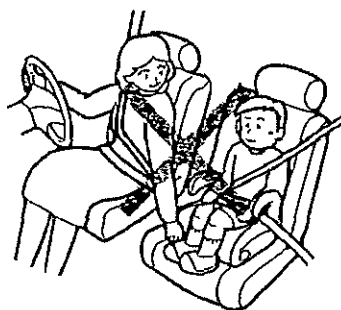


警告

- ジュニアシートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、部品の熱いおそれがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。



- ジュニアシートはなるべく安全性の高いといわれる後座でご使用ください。また、走行中はジュニアシートの調節をしないでください。走行中に行うと運転の妨けとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- 運転席側リヤシートで運転席の位置により、安全に取付けられる十分なスペースが確保できない場合は、ジュニアシートを無理に取付けないでください。急ブレーキや衝突したときなどにジュニアシートが十分な効果発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 車両シートベルトはねじれやゆるみがなく確実にロックされた状態で着用してください。車両シートベルトがねじれていたりゆるんでいると衝突時にロックしていない場合には衝突したときなどに車両シートベルトが十分な効果発揮せず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



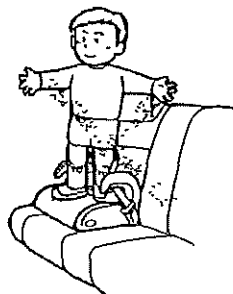
- 安全のため、走行中はお子様をジュニアシートから降ろさないでください。走行中に行くと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- お子様をジュニアシート固定機構付きシートベルトで遊ばせないでください。お子様がベルトを体に巻き付けたりして遊んでいるときに勝手にジュニアシート固定機構を作動させるとベルトを引き出すことができなくなり、窒息などの重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

- 走行中、停車中ともお子様をジュニアシートの上立たせたり、中腰・正座の状態を使用しないでください。お子様がジュニアシートより落ちてケガなどをするおそれがあり危険です。

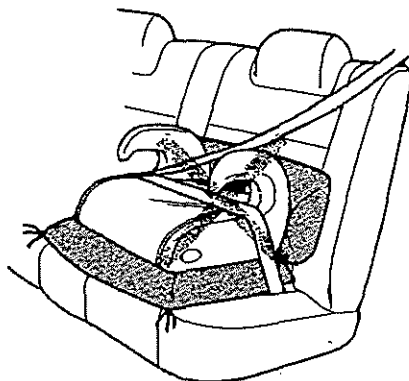


- SRSサイドエアバックが装備された車両では前席に取付けられた場合お子様がフロントドアにもたれかからないようにしてください。SRSサイドエアバックがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 本書に記載された以外の方法で絶対に取付けないでください。正しく取付けないと衝突したときなどにジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジュニアシートの表皮、カバー類は取り外して使用しないでください。
- ジュニアシートの表皮、カバー類は指定以外のものと取り替えて使用しないでください。

- お子様が、ジュニアシートをご使用中は、お子様に固いもの、鋭利なもの等危険なものを絶対に持たせないでください。わずかな衝撃でも生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ジュニアシート本体と車両シートとの縫および、お子様とジュニアシート本体との間に、クッションや座布団などを入れて使用しないでください。また、クッション材をジュニアシートの裏面として使用しないでください。



- 事故などにより、傷害を与えるような物を固定しない状態で車両の中央に放置しないでください。万が一のとき、お子様にあたけケガなどをするおそれがあり危険です。
- 車両シートバックは、一層立った位置に調節してください。
- 車両シートベルトがALR/ELR付シートベルトの場合、チャイルドシート固定機能は作動させないでください。万一作動させてしまった場合、車両シートベルトのバックルを外しベルトを全て巻き取らせチャイルドシート固定機能を解除したのちベルトをかけなおしてください。
- 本書に記載された以外に分解、構成部品を取外した状態で使用、本品指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

- このジュニアシートは自動車専用ですのほかに目的には使用しないでください。
- 長時間屋外にジュニアシートを放置しないでください。ジュニアシートの機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をジュニアシートにごぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- 後席にジュニアシートを取付け、お子様を座せた場合は、その前席に居る方はシートスライド、リクライニングをお控ください。万が一、シートスライド、リクライニングをする際は、お子様の足にぶつかることのないよう十分ご注意ください。
- ジュニアシートを車両の可動部分（シートやドア）で挟んだりしないよう十分ご注意ください。ジュニアシートが損傷するおそれがあります。

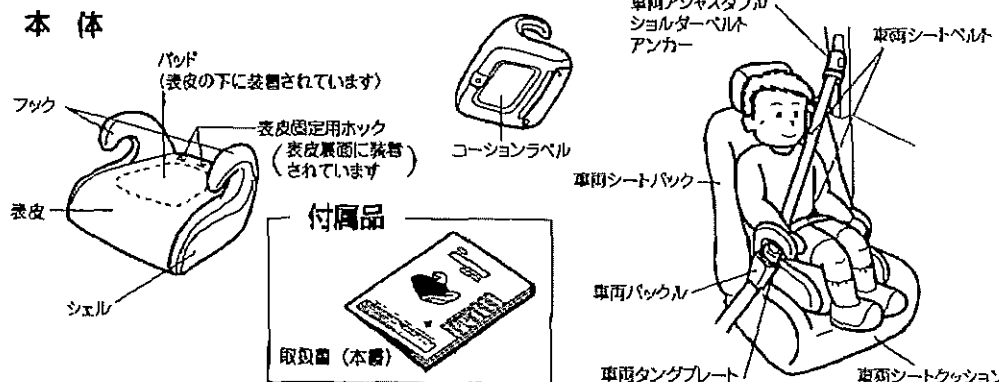
車両シートベルトの種類

- シートベルトの種類によりお子様を座せた時の取付け方法が異なります。ジュニアシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシートベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取付け方法で装着してください。使用できる車両は、巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

シートベルトの種類	特徴	取付け
ELR (緊急ロック式 ベルト巻取り装置) 付 3点式シートベルト	通常時には、ベルトが自由に引き出し巻取りでき、急ブレーキ等の衝撃を感知したときにベルトがその時点でロックされます。	ジュニアシートの取付けに合わせて、シートベルトの長さを引き出し巻取りながら固定してください。 (お子様を座せた時の取付けには「5お子様の座らせかた」P9を参照)
ALR (自動ロック式 ベルト巻取り装置) 付 3点式シートベルト	ベルトを引き出す途中（任意の位置）で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	必要な長さのシートベルトを一気に引き出して巻取りながら取付けてください。 (お子様を座せた時の取付けには「5お子様の座らせかた」P9を参照)
ALR/ELR (チャイルドシート固定機構) 付 3点式シートベルト	ELR付3点式シートベルトにチャイルドシート固定用にALR機構を備えたものです。	装着の際は上記ELR付3点式シートベルトと同じ方法で取付けてください。チャイルドシート固定機構は作動させないでください。(お子様を座せた時の取付けには「5お子様の座らせかた」P9を参照)
NLR (非ロック式 ベルト巻取り装置) 付 3点式シートベルト	ロック機構が無く、ベルトを全開引き出した状態で体絡に合わせてベルトの長さを調節します。	巻取り装置から、シートベルトを全開引き出し、ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調節し取付けてください。(お子様を座せた時の取付けには「5お子様の座らせかた」P9を参照)
マニュアル式 3点式シートベルト	巻取り装置が無く、体絡に合わせてベルトの長さを調節するシートベルトです。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調節し取付けてください。 (お子様を座せた時の取付けには「5お子様の座らせかた」P9を参照)

3 各部の名称

本体



アドバイス

- 取扱書をご使用にならないときは、大事な備品であるため紛失しないように大切に保管してください。

4 車両への取付け

⚠ 警告

- 各機能の取付け、取り外しおよび調整は、必ず停車中に行ってください。走行中に行くと運転の妨げとなり、恐ろしい事故の原因となります。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

⚠ 警告

- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(P1 ご使用にあたって) P2, 3を参照)
- SRSエアバッグが装備されている座席では、車両シートを一番後ろの位置へ調整してご使用ください。一番後ろにしないとエアバッグがふくらんだときの衝撃で重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- リクライニング付シートの場合は、一番立った位置に調整してご使用ください。倒した状態で使用になると、衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり腰部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
- ジュニアシートは、なるべく安全性の高いといわれている後席で使用するください。

- 取付け ① リクライニングが装備されている座席の場合、シートバックは一番立った位置に調整してください。
- ② ジュニアシートを車両シートの座面中央に置き、後部が車両シートバックに当たるようにしてください。

(完了チェック)

⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ジュニアシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - 表皮裏面にパッドが装着されており、表皮は5か所のフックで確実に固定されていること。

5 お子様の座らせかた

⚠ 警告

- 車両シートベルトのバックルを外したままのご使用は絶対におやめください。



- 車両シートバックからお子様の背中と腰が離れないようにジュニアシートにお子様を乗せさせてください。
- 車両シートベルトをお子様に着せし、車両バックルに「カチッ」と音がするまでタンクプレートを差し込んでください。
- 図のように車両シートベルトを左右のフックの下に通してください。

⚠ 警告

- 腰ベルトが必ずお子様の腰のできるだけ低い位置にかかるように固定してください。シートベルトが腰からずれていると衝突したときなどに腰部などに強い圧迫を受け重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



(完了チェック)

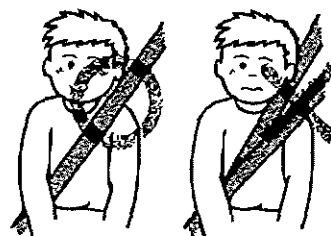


⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ジュニアシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - 車両シートベルトが左右のフックの下を過っていること。
 - 車両シートベルトがお子様の首に触れたり、肩からはずれていないこと。
 - 車両シートベルトがなじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。

車両シートベルトがお子様の首に触れたり、肩からはずれている場合



⚠ 警告

- 右記の調整を行っても、車両シートベルトがお子様の首に触れたり、肩からはずれる場合は使用しないでください。衝突したときなどに、ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 車両シートベルトがお子様の首に触れたり、肩からはずれている場合は、下記の調整を行ってください。
 - 車両シートの前後位置を調整する。
 - 車両にアジャスタブルショルダerbeltアンカーが装備されている場合は上下位置を調整する。
 - 上記の調整をしても肩からはずれる場合は、下図のように肩側の車両シートベルトのみフックの上に過す。



6 ジュニアシートのお手入れ

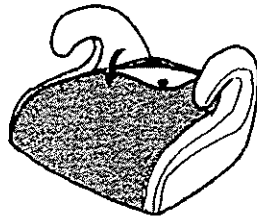
1. 構成部品の取り外しかた

⚠ 警告

- 下記説明以外の分解はしないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

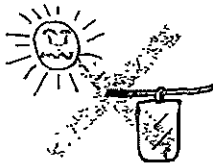
1. 表皮の外しかた

シェル本体から表皮のホック部（5カ所）を外してください。



2. お手入れ

1. 表皮の洗いかた



- 水またはぬるま湯で押し洗いしてください。なお、汚れがひどいときは、中性洗剤で手洗いし風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするので使わないでください。
- アイロン掛けはしないでください。

2. シェル、補助ベルトのお手入れ

- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 中性洗剤かぬるま湯で汚れをとり、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

⚠ 警告

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、補助ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

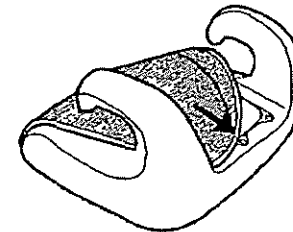
3. 構成部品の組み立てかた

⚠ 警告

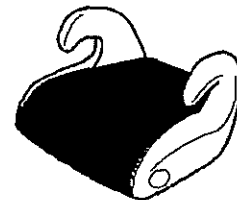
- 本品は構成部品を取外した状態で使用したり、本品指定以外のものと、取り替えて使用しないでください。万一のとき、ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. 表皮の組み付けかた

表皮のホック部（5カ所）をシェル本体のホック部（5カ所）に「パチッ」と音がするまで押し込んでください。



（完了チェック）



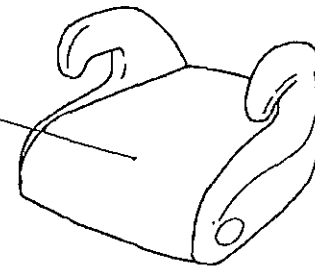
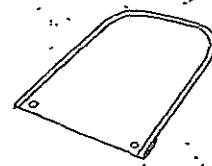
⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ジュニアシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
- 表皮裏面にノットが装着されており、表皮は5カ所のホックで確実に取付いていること。

補修部品について

①ジュニアシートクッション



番号	品 番	品 名	備 考
①	08794-00133	ジュニアシートクッション	カラー：グレー
②	08794-00134	ジュニアシートクッション	カラー：ライトブルー